

Ⅲ 豊かな体験活動推進事業報告(3年次)

※IKR調査「IKR評定用紙（簡易版）」とは・・・

理的社会的能力、徳育的能力、身体的能力の3つの能力で「生きる力」を測定するための28項目のアンケート用紙です。

「IKR評定用紙（簡易版）」は、橘直隆氏（筑波大学大学院人間総合科学研究科教授）と平野吉直氏（信州大学教育学部教授）が開発した「生きる力」を測定するための70項目からなる「IKR（IKiRu）評定用紙」の調査項目をもとに、事業を運営しながらでも簡便にアンケート調査ができるように項目を絞り込んだアンケート用紙です。

質問は、「いやなことは、いやとはっきり言える」といった心理的社会的能力（14項目）、「自分かってな、わがままを言わない」といった徳育的能力（8項目）、「早寝早起きである」といった身体的能力（6項目）の3つの能力を問う28項目で構成されています。

回答は、項目ごとに「とてもよくあてはまる」から「まったくあてはまらない」の6段階に○をひとつ付けるだけですので、短い時間で簡単に調査することができます。

参考：体験活動による「生きる力」の変容が見える！

「生きる力の測定・分析ツール」

平成22年5月

編集・発行 独立行政法人国立青少年教育振興機構

Ⅲ 豊かな体験活動推進事業報告（3年次）

1 事業概要

（1）事業の目的

子どもの自己肯定感を高めて社会を生き抜く力を身につけさせるため、「主体的・対話的で深い学び」に向けた自然体験プログラムを開発し、小学校教育課程における宿泊体験活動の充実に努める。

（2）対象

大分県内の公立小学校

（3）事業内容・具体的取組

〔事業内容〕

- ①宿泊体験活動で行う各活動を教科等に関連付け、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの宿泊体験活動プログラムの開発を行う。
- ②実施校による連続した2泊3日以上宿泊体験活動を実施する。
- ③宿泊体験活動を企画する資質能力の向上を目的とした教職員研修を実施する。
- ④当該年度の取組や意識調査の結果を周知する報告会を実施する。
- ⑤実施校は次の2種類とする。
 - ・協力校：宿泊体験活動のプログラムや手法等を学ぶ教職員研修の際に宿泊体験活動を実施する小学校
 - ・検証校：県と当該校が共同で作成するプログラムに基づき宿泊体験活動を実施しその成果と課題を検証する小学校

〔具体的取組〕

- ①について
 - ・教育目標、教育課程、児童の実態等をもとに、青少年の家職員、社会教育課担当者とともに2泊3日以上宿泊体験活動プログラムの開発を行う。
- ②について
 - ・①で開発したプログラムを基にした2泊3日以上宿泊体験活動を実施する。
 - ・本事業の効果を評価するため、参加児童に対しアンケート調査を行う。
- ③について
 - ・協力校は、「豊かな体験活動推進研修（中堅研選択）」への協力をを行い、当該校の活動の様子を公開する。
- ④について
 - ・報告会に参加し、活動後の児童の様子等、情報提供を行う。
 - ・報告会の内容を次年度以降の教育課程に反映させる。

(4) 実施校（協力校・検証校）

[令和元年度]

	種別	活動実施校	主な活動地域	活動日数	実施学年	児童数
1	検証校	中津市立津民小学校	九重青少年の家	2泊3日	全校	5名
2	検証校	宇佐市立八幡小学校	九重青少年の家	2泊3日	5・6年生	33名
3	協力校	国東市立武蔵東小学校	香々地青少年の家	2泊3日	5・6年生	59名
4	協力校	国東市立武蔵西小学校	香々地青少年の家	2泊3日	5・6年生	5名
5	協力校	佐伯市立字目録豊小学校	九重青少年の家	2泊3日	5年生	11名
6	検証校	豊後大野市立朝地小学校	九重青少年の家	2泊3日	5年生	15名
7	検証校	日田市立津江小学校	香々地青少年の家	2泊3日	5年生	8名
8	検証校	九重町立南山田小学校	香々地青少年の家	2泊3日	5年生	15名
9	検証校	九重町立野上小学校	九重青少年の家	2泊3日	5年生	21名
計						172名

[令和2年度]

	種別	活動実施校	主な活動地域	活動日数	実施学年	児童数
1	検証校	中津市立津民小学校	九重青少年の家	2泊3日	全校	5名
2	検証校	宇佐市立八幡小学校	九重青少年の家	0泊1日	5・6年生	30名
3	協力校	国東市立志成学園	香々地青少年の家	1泊2日	5・6年生	59名
4	検証校	国東市立国東小学校	九重青少年の家	1泊2日	5年生	32名
5	協力校	佐伯市立字目録豊小学校	九重青少年の家	1泊2日	5年生	14名
6	検証校	佐伯市立明治小学校	九重青少年の家	2泊3日	5年生	24名
7	検証校	佐伯市立明治小学校	九重青少年の家	2泊3日	6年生	26名
8	検証校	玖珠町立日出生小学校	香々地青少年の家	2泊3日	全校	5名
9	検証校	九重町立野上小学校	九重青少年の家	2泊3日	5年生	20名
計						215名

[令和3年度]

	種別	活動実施校	主な活動地域	活動日数	実施学年	児童数
1	協力校	豊後高田市立高田小学校	香々地青少年の家	1泊2日	5年	70名
2	検証校	由布市立由布院小学校	九重青少年の家	1泊2日	5年	56名
3	検証校	由布市立由布川小学校	九重青少年の家	1泊2日	5年	64名
4	検証校	由布市立挾間小学校	九重青少年の家	1泊2日	5年	102名
5	検証校	玖珠町立小田小学校	九重青少年の家	2泊3日	全校	12名
6	協力校	九重町立野上小学校	九重青少年の家	2泊3日	5年	16名
計						320名

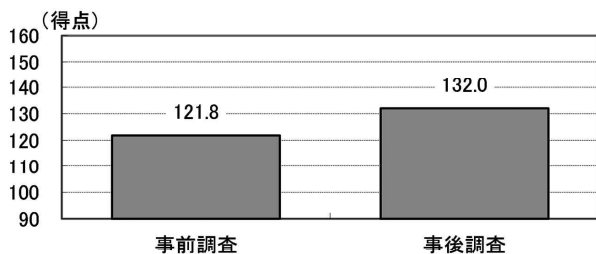
2 豊かな体験活動推進事業のまとめ

(1) I K R調査の結果及び考察

①事業全体

○「生きる力」の変容

- ・事前から事後、10.2ポイント向上



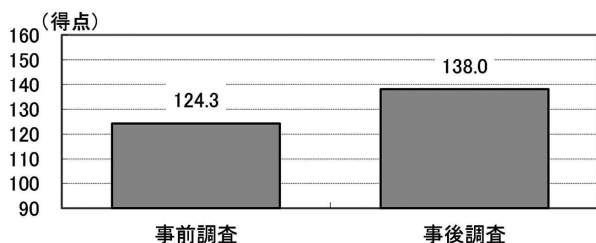
○「自己肯定感」の変容

- ・多くの人に好かれている
事業前「3.6」
⇒事業後「4.1」
- ・自分のことが大好きである
事業前「3.8」
⇒事業後「4.2」

②泊数における変容の差

○2泊3日

- ・事前から事後、13.7ポイント向上

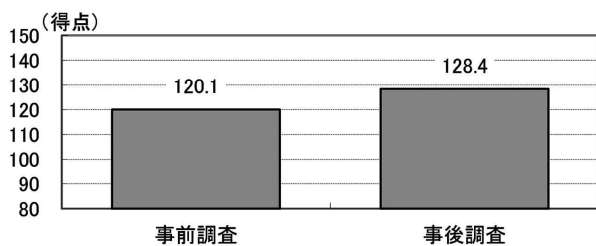


○「自己肯定感」の変容

- ・多くの人に好かれている
事業前「3.7」
⇒事業後「4.3」
- ・自分のことが大好きである
事業前「4.1」
⇒事業後「4.5」

○1泊2日

- ・事前から事後、8.3ポイント向上

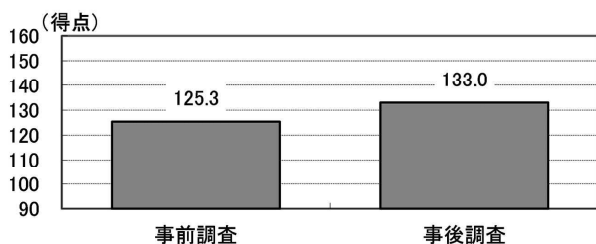


○「自己肯定感」の変容

- ・多くの人に好かれている
事業前「3.6」
⇒事業後「4.0」
- ・自分のことが大好きである
事業前「3.6」
⇒事業後「4.0」

○日帰り

- ・事前から事後、7.7ポイント向上



○「自己肯定感」の変容

- ・多くの人に好かれている
事業前「3.5」
⇒事業後「3.8」
- ・自分のことが大好きである
事業前「3.5」
⇒事業後「3.8」

③考察

- 活動前後の I K R 調査の結果を比較したところ、活動後の児童の「生きる力」や「自己肯定感」が向上することが明らかになった。
- 泊数比較をしたところ、日帰りや1泊よりも「2泊3日」での実施が、「生きる力」や「自己肯定感」の向上に効果的であることが明らかになった。

(2) 成果及び課題：教職員アンケート結果より

①成果

○子どもの姿から

- ・日頃関わりの少ない子どもどうしが積極的にコミュニケーションをとる様子が見られ、相手のことを理解したいと思う意欲の高まり、人間関係の広がりを感じた。
- ・自分のことは自分ですという経験が多くあり、一人ひとりが責任をもって役割をこなすことができた。
- ・協力や認め合い、リーダーシップ、自主性など、個の成長が見られた。
- ・「できるようになったことを、互いに伝え合い・認め合う」中で、子どもたちの「自己肯定感」を高めることができた。
- ・十分な活動時間が保障されたことで、「最初はできなくても、何回もやり直しを繰り返し、あきらめずに最後まで努力したらできるようになる」という達成感を心から味わうことができた。

○その他

- ・教職員が普段見られなかった児童の良さに気づくことができた。
- ・学校の教育目標を意識し、育成する資質・能力を明確にして活動プログラムを計画し、学校教育目標に近づく体験ができた。
- ・2日目の「朝から寝るまで」の1日を通した活動には大きな価値がある。
- ・2泊3日だからこそ、すべての活動に「ゆとり」をもって、子どもたちが主体的に考え行動する場面を数多く設定することができた。
- ・専門的知識、経験のあるゲストティーチャーのサポートが、児童の気づき（知識・技能）と学習の深まり（思考力・判断力・表現力の育成）につながった。
- ・教職員間の情報共有の時間が十分確保でき、互いの思いや願いを深く知ることで絆が深まったように思う。

②課題

- ・泊数が増えることによる不安感が強い児童や支援が必要な子どもへの対応に課題がある
- ・子どもたちの育成する資質・能力を高めていくための総合的な学習の時間や他教科と関連させたカリキュラムマネジメントが大切である。
- ・子どもたちにどんな力をつけたいかの教育的価値を探り、モチベーションを持って、主体的に取り組もうとする教員を育てていくことが大切である。
- ・天候や活動の実施状況によって予定を変えざるを得ないことがあるので、綿密に計画を立てる必要がある。また、感染症対策（日程、活動内容）、保護者への十分な説明や不安感の払拭が必要である。
- ・泊数増による食費やスキー活動等の実施による経費の負担増が課題である。

3 参考資料

香々地：玖珠町立日出生小学校活動例
(様式1)

様式1

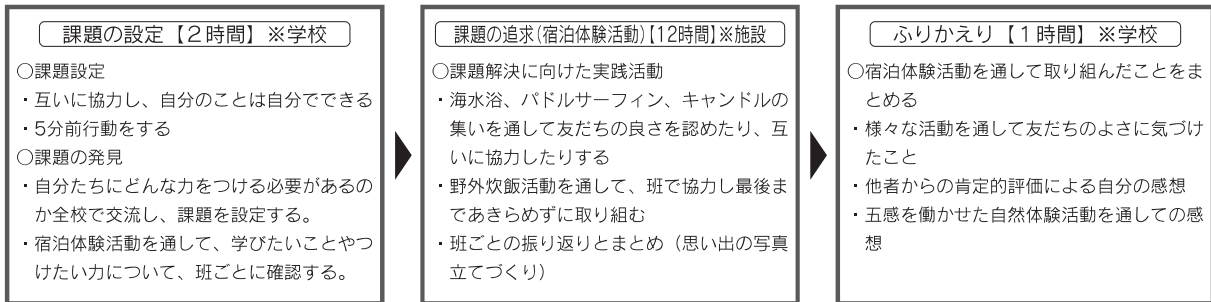
(学校名：日出生小学校・小野原分校)

活動プログラム (香々地宿泊体験活動)

◇全学年 特別活動「宿泊体験活動を通して、自分でできる日出生つ子をめざそう」

活動のめあて	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊体験活動を通して、自分のことは自分ですること、互いに協力し活動すること、時間を守って行動することができる。 ・香々地での様々な体験活動に進んで取り組むことができる。
--------	--

◇学習過程と活動の流れ (例)



◇育成する資質・能力

知識及び技能	よりよく活動するための課題を話し合っ解決することや協働して取り組むことの大切さを理解し、活動の方法を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力等	よりよく活動するために課題を見出し、解決の方法を話し合い、多様な意見を生かして最後まであきらめずに協働して実践することができる。
学びに向かう力・人間性等	異年齢集団での他者との協働の活動や他者からの肯定的評価を伝え合う活動を通して、自己肯定感を高めることができる。また、自ら進んで活動に取り組もうとする意欲をもつことができる。

(様式2)

様式2

(学校名：玖珠町立日出生小学校)

香々地青少年の家における集団宿泊体験活動の実施計画 (日程)

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22						
1日目			日出生小学校出発	※バス移動	香々地青年の家到着	荷物整理 入所式	自由時間(アスレチック)	朝食 着替え	【活動1】 海水浴	【活動2】 SUP体験	着替え	入浴 夕食	夕日鑑賞	【活動3】 ブラネタリウム	【活動4】 星空観察	班活動・振り返り	就寝準備	就寝					
2日目	起床・洗面・床上げ	朝の集い	野鳥観察	朝食	着替え	【活動5】 SUP体験	【活動6】 野外炊飯	朝食	【活動7】 磯観察	※素材集め	【活動8】 なべ磨き体験	着替え	自由時間	夕食	自由時間(班活動)	夕日鑑賞	※素材集め	【活動9】 キャンドルの集い	入浴	班活動・振り返り	就寝準備	就寝	
3日目	起床・洗面・床上げ	朝の集い	素材集め	朝食	清掃・荷物整理	【活動10】 フォトフレーム制作	自由時間(アスレチック)	朝食	退所式	香々地出発	※バス移動	日出生小学校着・解散											

(様式3-1)

様式3-1

(学校名：日出生小学校・小野原分校)

【1日目】

活動名	活動内容	教科等	単元等	ねらい
入所式	・個人のめあて交流と合宿のめあてを共通理解する場	特別活動 集団宿泊的行事 (0.5時間)	集団宿泊活動の目標をもと	・宿泊体験活動において、友だちとの人間関係をよりよく形成し友だちと協働しながら活動するために、自分のめあてや役割を確認しあいながら協働する意識を高めることができる。
海の活動	・海水浴 ・SUP体験	体育 (3時間)	体づくり運動 (水泳運動) (バランス運動)	・安全に気を付けて泳ぐことができるようにする。 ・発達段階に応じた泳ぎ方で泳ぐことができるようにする。 ・SUP体験を通してバランス感覚を養い、上手な体の使い方について考えることができる。
星空観察 プラネタリウム	・夏の星座 ・木星、土星の天体観測	理科 (3・4・5・6年) (1時間)	月と太陽の発展星や月、天体の発展	・星空の美しさや素晴らしさを体感し、天体や宇宙に対する興味関心を高めることができる。 ・宇宙の成り立ち、地球上の生命と天体の関係を学ぶことができる。
振り返り	・友だちと協働し、めあてに向かって活動できたかを振り返る意見交換。	特別活動 (0.5時間)	宿泊体験活動 一日の振り返り	・一日の活動を振り返り、様々な活動に自主的に取り組めたか、友だちと協働することができたか、うれしかったことや感じたことなどを振り返ることができる。

(様式3-2)

様式3-2

(学校名：日出生小学校・小野原分校)

【2日目】

活動名	活動内容	教科等	単元等	ねらい
野外炊飯	・カレーライス作り	総合(3・4年) 家庭科(5・6年) (3時間)	食べて元気に	・決められた時間で調理ができるよう作業を分担して行うことができる。 ・調理時間や火の通りやすさを考え、カレーライスのグザイを切るすることができる。 ・鍋の様子を見て、火加減の調節をしながら調理をすることができる。 ・会食を楽しみながら、食感、固さ等についての感想や気を付けたい点を話し合い、よりおいしいカレーライスにするための方法を話し合わせ、見つけることができる。
磯観察	・磯や干潟の生物を観察することで、環境と生物の関係を考える。	理科 (4時間)	生物と環境	・磯や干潟の生物を観察しながら、生物と環境について興味関心を高めることができる。
海の活動	・SUP体験	体育 (1時間)	体づくり運動 (バランス運動)	・SUP体験を通してバランス感覚を養い、上手な体の使い方についてさらに考えることができる。
キャンドルの集い	・厳粛に行う儀式 ・自分たちで計画した楽しい集い	特別活動 (1.5時間)	仲間と協力して楽しもう!	・ろうそくの炎が醸し出す神秘的な雰囲気の中で、厳粛に行う儀式と、自分たちで計画した楽しい集いを通して、友だちと協力して取り組む楽しさと感動を味わうことができる。
振り返り	・友だちと協働し、めあてに向かって活動できたかを振り返る意見交換。	特別活動 (0.5時間)	宿泊体験活動 一日の振り返り	・一日の活動を振り返り、様々な活動に自主的に取り組めたか、友だちと協働することができたか、うれしかったことや感じたことなどを振り返ることができる。

(様式3-3)

様式3-3

(学校名：日出生小学校・小野原分校)

【3日目】

活動名	活動内容	教科等	単元等	ねらい
記念作品作り	・フォトフレームづくり	図工 (2時間) 国語 (1時間)	香々地の思い出となるフォトフレームを作ろう	・香々地で収集した貝殻を使い、オリジナルのフォトフレームを作ることができる。
退所式	・感想交流	特別活動 集団宿泊的行事 (0.5時間)	集団宿泊活動の振り返り	・宿泊体験活動全体を振り返ることを通して、友だちのよいところや自分の成長したところについて振り返ることができる。

(様式4)

様式4

(学校名：日出生小学校・小野原分校)

成果

(視点：2泊3日の宿泊体験、活動プログラム・めあて・流れ、育成する資質能力、子どもや教職員の様子・取組、計画や運営等)

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの毎日の振り返りで、暑さやきつさを乗り越えて、楽しいだけではなく満足できる達成感を得ることができたといった内容が書かれていた。その後の、児童の様子を見ても自信をつけている様子が見えかけた。 ・高学年の意識が高まっていった。小規模校なので日頃から低学年に声をかけることは多かったが、指示を出したり励ましたりと肯定的な言葉かけができるようになってきた。 ・長い体験活動ではあったが、日頃体験できないことや一生懸命に取り組んだ後には達成感というものがあることに、児童が気付いたことが大きな成果であった。児童の自信にもつながった。 ・親元を離れて2日間帰れない状況があることで、個々の自立心や達成感をより強く感じる事ができた。
--

課題

(視点：2泊3日の宿泊体験、活動プログラム・めあて・流れ、育成する資質能力、子どもや教職員の様子・取組、計画や運営等)

<ul style="list-style-type: none"> ・当初から予定していた人数とは異なり、低学年の宿泊を見直したことにより、8人中5人の参加となった。また体調不良の児童もいたので5人になった。 ・事前の保護者への説明を十分にしておくことが大切。 ・学年に幅があるので、活動計画を低学年・高学年で綿密に立てる必要があった。
--

九重：九重町立野上小学校活動例
(様式1)

様式1

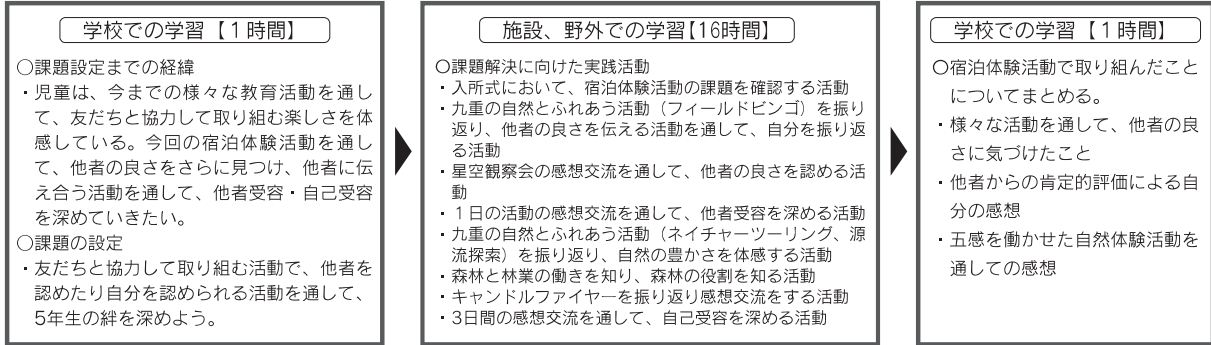
(学校名：九重町立野上小学校)

活動プログラム (九重宿泊体験活動)

◇活動プログラム (九重町の森林と水、友だち再発見！)

活動のめあて	平素と異なる自然の中での宿泊体験活動において、体験を元に故郷九重町の豊かな自然の恵みや林業の役割を知るとともに、他のよいところに気づき望ましい人間関係を高めることができる。
--------	--

◇学習過程と活動の流れ (例)



◇育成する資質・能力

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の働きや林業の役割について知ることができる。 ・よりよく活動するための課題を話し合って解決することや協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身につけることができる。
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・源流探索や森林と林業の学習から、森林保全等について考えを深め、まとめ、表現することができる。 ・よりよく活動するために課題を見だし、解決の方法を話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができる。
学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験活動や学習に進んで取り組むとともに、学んだことから新たな課題に気づくことができる。 ・他者と協働し、他者からの肯定的評価を伝え合う活動を通して、自己肯定感を高めることができる。

(様式2)

様式2

(学校名：九重町立野上小学校)

九重青少年の家における集団宿泊体験活動の実施計画 (日程)

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1日目									※バス移動	入所式 オリエンテーション	【活動1】 九重の自然とふれあう活動(晴) フィールドビンゴ (雨) フラックボックス	17:10 入浴	夕食	【活動2】 (晴) 星空観察会 (雨) プラネタリウム	一日のまとめ ※自主	リーダー会議	就寝準備 就寝
2日目		起床	※ネイチャーツーリング 朝食	※バス移動	9:30 寺床着 【活動3】 9:30~12:00 源流探検・森林体験 ※GT 11:50 寺床発	※バス移動	昼食 12:20	【活動4】 「林業の果たす役割と現状」 ※GT	【活動5】 学習のまとめ ※GT		17:10 入浴	夕食	【活動6】 キャンドルファイヤー		リーダー会議	就寝準備 就寝	
3日目		起床	退所準備 朝食	退所点検・退所式 9:30 ※バス移動	10:00 タデ原着 【活動7】 10:00~12:00 タデ原湿原散策 ※GT 12:00 タデ原発	※バス移動	帰校・給食										

※GT (ゲストティチャー)

(様式3-1)

様式3-1

(学校名：九重町立野上小学校)

【1日目】

活動名	活動内容	教科等	単元等	ねらい
入所式	・個人のめあて交流と合宿のめあてを共通理解する場	特別活動 集団宿泊的行事 【0.5時間】	宿泊体験活動 のめあて	・宿泊体験活動において、学級の人間関係をよりよく形成し友だちと協働しながら活動するために、宿泊体験活動の課題を確認し合いながら協働する意識を高めることができるようにする。
【活動1】 九重の自然とふれあおう	・ネイチャーゲーム (晴)フィールドビンゴ (雨)ブラックボックス	5年 理科 【1時間】	植物の特徴	・フィールドビンゴを通して、樹木の観察の仕方を知り、樹木には様々な特徴があることに気づくことができるようにする。 ・ブラックボックスの中にある自然物や人工物が、自然の中でどう結びついているか、自分たちの生活とどうつながっているかを考えることができるようにする。
	(雨)動物の映像視聴と特徴のレクチャー	5年 理科 【0.5時間】	生物どうしのかかわり	・森林の中で、動物の糞や食べ残し等に注目して動物の痕跡を探すことにより、森林が生命を育むゆりかごであることに気づくことができるようにする。
【活動2】 星空観察会	・秋の星座 ・木星、土星の観察	理科 【1時間】	※月と星(4年生)の発展	・木星や土星、星団の観察を通して、星の特徴を知り、天体への興味関心を高めることができるようにする。
1日のまとめ ※自主	・友だちと協働し活動できたかを振り返る意見交換	特別活動 【0.5時間】	活動の振り返り	・一日の活動を振り返り、新たな気づきや他者との関わりでうれしかったこと等の感想交流を通して、他者受容と自己受容を深められるようにする。

(様式3-2)

様式3-2

(学校名：九重町立野上小学校)

【2日目】

活動名	活動内容	教科等	単元等	ねらい
朝の散歩	・ネイチャーツーリング	特別活動 【0.5時間】		・五感を使った自然探検ゲームを盛り込んだネイチャーツーリングにチャレンジし、友だちと協力して取り組む楽しさを体感しながら、自然とふれあうことができるようにする。
【活動3】 源流探し・森林体験 ※GT	・野上川源流探検 ・森林体験 ・水質検査	総合的な学習 の時間 【3.5時間】	森林の働き	・原生林や野上川水流の水源を探索・調査することにより、森林や水のいろいろなことに気づき、それを友だちと交流し合うことで気づきの深まりにつなげる。また、原生林の木々や土を体感することにより、その働きについての学習へと結びつける。
【活動4】 森林の果たす役割※GT	・森林と林業の果たす役割学習	社会科 【1.5時間】	林業の現状と課題	・「木を切ることが森林を守るにつながる」という学習テーマを設定し、その理由をGTの話から考えることができる。
【活動5】 学習のまとめ ※GT	・どんな気づきがあったか ・源流の様子はどようだったか ・林業と森林の果たす役割	総合的な学習 の時間 【2時間】		・源流体験やGTから学んだことをグループでまとめ、森林と水の関係や林業との関わりについて考えを深めることができる。 ・学びをふるさと自慢につなげることができる。
【活動6】 キャンドルファイヤー	・厳粛に行う儀式 ・自分たちで計画した楽しい集い	特別活動 【1.5時間】		・キャンドルの炎が醸し出す神秘的な雰囲気の中で、厳粛に行う儀式と自分たちで計画した楽しい集いを通して、友だちと協力して取り組む楽しさと感動を味わうことができるようにする。
1日のまとめ *自主	・友だちと協働し活動できたかを振り返る意見交換	特別活動 【0.5時間】	活動の振り返り	・一日の活動を振り返り、新たな気づきや他者との関わりでうれしかったこと等の感想交流を通して、他者受容と自己受容を深められるようにする。

(様式3-3)

様式3-3

(学校名：九重町立野上小学校)

【3日目】

活動名	活動内容	教科等	単元等	ねらい
退所式	・個人のめあて交流と合宿のめあてを振り返る場	特別活動 【0.5時間】	体験学習の振り返り	・宿泊体験活動において、新たな気づきや他者との関わりでうれしかったこと等の感想交流を通して、他者受容と自己受容を深められるようにする。
【活動7】 タテ原湿原散策 ※GT	・玖珠川源流探索 ・水質検査 ・様々な場所の水の比較体験	総合的な学習の時間 【2.5時間】	湿原の働き	・湿原や玖珠川水流の水源を見学・調査することにより、湿原の持つ役割を知ることができる。 ・水の採取場所による違いを体験し、水について関心をもつことができる。

◎源流探険ができなかった場合GTが提供できる活動

- ・フクロウのペレットを活用した森の生命のつながり
- ・捕獲したネズミとどんぐりの関係から見える森林と生命のつながり 等

◎源流探険ができなかった場合九重青少年の家でできる活動

活動名	活動内容	教科等	単元等	ねらい
自然観察会	・川の温度、水質検査と雨水や季節風との関係 ・植物の蒸散作用と生命や暮らしとの関係	6年理科 【1時間】 5年社会 【1時間】	水溶液の性質の導入 (6年 理科) 気候の特色と人々の暮らし (5年 社会)	・小川の水温や水質を調べたり、川と森林の関わりについて考たりすることを通して、小川の水は季節風による雨水や土壌により水質にちがいがあつて理解するとともに、植物は周囲の環境と関わつて生きていることを理解する。 ・森林がきれいな水を育み、農業や工業等の営みに貢献していることを理解できるようにする。

(様式4)

様式4

(学校名：九重町立野上小学校)

成果

(視点：2泊3日の宿泊体験、活動プログラム・めあて・流れ、育成する資質能力、子どもや教職員の様子・取組、計画や運営等)

- 2泊3日だからこそ可能なプログラム(学びに向かう力の育成)を仕組むことができた。
- 集団行動を体験することにより、協力や認め合い、リーダーシップ、自主性など、学校では見られない個の成長が見られた。
- 専門的知識、経験をもつGTのサポートが、児童の気づき(知識・技能)と学習の深まり(思考力・判断力・表現力の育成)につながつた。
- 地の利、人の利をいかすことで、地域への関心と見つめ直しになつた。
- 自己肯定感、他者肯定感の高まり(学びに向かう力の育成)を学級経営につなげていくことができる。
- 青少年の家の職員の全面的サポートがとても助かつた。
- 講師料等の学校予算、交通費の保護者負担等、学校や個別ではなかなか確保、実現できない取組のため、この事業は大変ありがたい。

課題

(視点：2泊3日の宿泊体験、活動プログラム・めあて・流れ、育成する資質能力、子どもや教職員の様子・取組、計画や運営等)

- 豊かな体験活動も含め、子どもたちの育成する資質・能力を高めていくための総合的な学習や他教科と関連させたカリキュラムマネジメントが大切と考える。
- この事業で子どもにどんな力をつけさせていきたいかの教育的価値を探り、モチベーションをもち、主体的に取り組もうとする教員を育てていくことが大切。
- 消耗品類の予算化をお願いしたい。

豊かな体験活動推進事業（令和元年度～令和3年度）
（国事業名：健全育成のための体験活動推進事業）

大分県版「宿泊体験活動のてびき」

令和4年3月発行

編集 大分県教育庁社会教育課
〒879-8503
大分市府内町3-10-1
電話 097-506-5527
印刷所 株式会社 明文堂印刷

